

授業科目名	リーダーシップ論	担当教員	山中 俊之
必修の区分	選択		
単位数	2		
授業の方法	講義		
開講年次	2年第1クォーター		
講義内容	<p>グループ討論やロールプレイを通じて、リーダーシップに関する実践的な能力を身に付けてもらうことを目標とする。リーダーシップは、どんな職業においても、地域社会においても、肩書等に関係なく必要な能力であり、また後天的に身に付けることができる。学生時代に必要なリーダーシップ及び社会人になってから特に重要なリーダーシップのそれぞれにおいて一緒に考えながら習得してもらう。単に机上の討論になることなく、学生生活の日常においても活用しながら考え方とスキルの向上を目指す。ゲストスピーカー講演も入れて実践的な内容を目指す。なお、シラバスの内容は、今後の検討状況や学生の皆さんの要望に応じて変更があり得ます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとってのリーダー像を確立する（各自リーダー像が違うことは前提）。</li> <li>・リーダーシップをとるための必要な行動要素を知り、それを基に自分の強みや弱みについて分析することができる。</li> <li>・自らのビジョンを明確に立案できる。</li> <li>・他者を動かすための方法論を理解して、状況に応じて、実践できる。</li> <li>・リーダーとして重要なファシリテーションについて理解して実践できる。</li> <li>・リーダーとして重要なプレゼンテーションについて理解して実践できる。</li> <li>・稲盛和夫氏など卓越したリーダーの実例について知識を蓄積して、自らが必要な時にそれら知識を思い出して必要に応じて活用できる。</li> </ul>		
授業計画	<p>第1回：リーダーシップとは何か、なぜ重要なのかー世界ではリーダーシップは基礎的素養</p> <p>第2回：リーダーシップを取るために必要な行動要素とは何かー状況対応型リーダーシップ</p> <p>第3回：リーダーにとって重要なビジョンとゴールとは</p> <p>第4回：変化の時代の引っ張らないサーバントリーダーシップ</p> <p>第5回：他人からのフィードバックを受けて考えるーリーダーズインデグレーション</p> <p>第6回：他者を動かすために必要なパワー理論とはなにか、いかにしてパワー理論を使って他者を動かすのか</p> <p>第7回：他者を動かすために必要な与える力ー稲盛和夫氏の利他の精神から学ぶ</p> <p>第8回：リーダーに必要なファシリテーションのスキル</p> <p>第9回：ゲストスピーカー講演</p> <p>第10回：リーダーに必要なプレゼンテーションのスキル</p> <p>第11回：改めて、自らのリーダースタイルを考える</p> <p>第12回：自らのリーダーとしてのアクションプランを考える</p> <p>（注）今後の検討状況や学生の皆さんの要望等によって変更があります。</p>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回1週間で実践したリーダーシップ行動について発表してもらいます</li> </ul>		
テキスト	<p>&lt;参考図書&gt;稲盛和夫「生き方」、(将来行政職員希望であれば) 山中俊之「自治体職員のための人材開発ハンドブック」</p>		

参考文献	必要に応じて配布。
成績評価の基準	レポート (50%)、積極性 (=授業中の発言、質問等) (50%)
履修上の注意 履修要件	双方向のやり取りやグループ討論が多いので、その前提で参加していただければ幸いです。
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	なし